

イングリッシュフォトアドベンチャー(野外活動)について

1 ねらい

- (1) 第5学年外国語科「道案内をしよう」の学習の一部として行う。「道案内」でよく使われる言語を活用できる基礎的な技能を身に付けることをねらいとしている。
- (2) 教育課程との関連をより強く意識したプログラムであることから、適切な時数配当及び該当する単元の指導内容の深化が図られるものである。

2 単元計画例

学習過程	活動内容	時数	活動の場
目的の設定・理解	・ 英語で道案内をしよう。	1	学校
方向性の決定・言語活動の見通し	・ 道案内をする上で必要な単語や表現について理解しよう。	3	学校
目的実現のための言語活動	・ 「イングリッシュフォトアドベンチャー」で実際に道案内をしてみよう。	3	南薩少年自然の家
まとめと振り返り	・ 活動を振り返り、さらに必要な表現について考えよう。	1	学校

3 集団宿泊学習のプログラムとして実施することの意義

- (1) 普段生活をしている学校やその周辺での道案内では見慣れた環境での活動になってしまうが、初めて来る施設で行うことで、リアリティーのある活動になり、学習の深化が図られる。
- (2) 仲間で協力して取り組もうとする意識を高めることができる。
- (3) ゲーム性のある「イングリッシュフォトアドベンチャー」を行って道案内をすることで、楽しみながら意欲的に学ぶことができる。

4 「主体的・対話的で深い学び」の視点から

	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
目指す子どもの姿	○ 英語で仲間とコミュニケーションをとることを楽しみながら意欲的に取り組もうとする。	○ 仲間と相談しながら活動し、課題に取り組むことができる。	○ 活動に取り組みながら、お互いに質問したり質問に答えたりするなど、英語でコミュニケーションをとる。 また、さらに必要な表現があることを知り、新たな課題として設定することができる。
指導のポイント	○ 学校において事前に道案内に必要な単語を使って練習をしておくことで、スムーズに取り組むことができるとともに自信を持って積極的に活動に参加することができる。	○ 特定の子どもの意見や活動に他の子どもが従っているだけというような状況にならないよう、なるべく少人数のグループ編成にするとともに、役割を交代させながら活動させる。	○ 「イングリッシュフォトアドベンチャー」中は英語でコミュニケーションをとるようにする。そのために日頃の英語の授業においても、英語だけでコミュニケーションをとる時間を設けるようにする。

南薩少年自然の家での展開例【外国語科 時数3時間】

1 目 標

グループで、「イングリッシュフォトアドベンチャー」を行い、道案内に必要な英語での表現を用いてコミュニケーションをとり、必要な情報を伝え合うことができるようにする。

2 展 開

過程	主な学習活動	時間 (分)	指導上の留意点 ※ 評価 ◎所員 ○引率者
導 入	1 イングリッシュフォトアドベンチャーの概要について説明を聞く。 2 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">Let's challenge English Photo Adventure !</div> 3 各自の役割やゲームのすすめ方についてグループで話し合う。 4 グループごとにスタートする。 ※ 以降は英語によるやりとり	20	◎ 所員が日本語で概要を説明する。安全指導についても十分指導する。 ○ 引率者は必要に応じて英語で説明を加える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ編成は5人とし、可能であれば30秒おきにスタートする。 ・ フォロワーがリーダーに道順を質問し、リーダーがフォト図をもとに道案内をする。 ・ フォト図が5枚あるので、リーダー役を交代しながら進める。 ・ 案内する側とされる側を経験する。 ・ 途中問題があるので解答用紙に記入する。 ・ ティーチャーズポイントでは、既習内容をもとに簡単な質問を全員にする。 </div>
展 開	5 フォト地図に書かれた指示に従って、英語でコミュニケーションをとりながらフォトアドベンチャーをすすめる。 6 フォトアドベンチャーの途中に問題があるので、グループで話し合い、解答用紙に記入する。 7 ティーチャーズポイントでは、引率者が一人一人に英語で問いかけ、全員が答えることができたなら次のポイントへ進む。 8 フォト地図を全て終了した場合、または制限時間に間に合うようにグループ全員でゴールする。	100	○ 引率者は、巡回や見守り場所において、単語や簡単な表現でも構わないので、英語でコミュニケーションをとり、情報を交換しながらフォトアドベンチャーを進めるように声をかける。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ※ 道案内に使われる単語の意味を理解できたか。【評価方法：フォト地図の見方】 </div> ○ ティーチャーズポイントでは、児童の実態に応じた質問をすることで、意欲的にフォトアドベンチャーを続けさせるようにする。 ○ 制限時間を考慮し、グループの実態に応じて帰所を呼びかける。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ※ 道案内に必要な情報を英語で伝え合うことができたか。 【評価方法：グループでのコミュニケーション】 </div>
終 末	9 活動を振り返る。 (1) 表彰を行う。 (2) 道案内をする上で、さらに知っていた方が良い表現などについて発表し、全体で共有する。 10 次時の学習(外国語科)について話し合う。	15	○ 引率者は問題の解答や解説を行うとともに、表彰を行う。 ○ 新たな課題設定を行うことで、次時の学習意欲を喚起する。 ◎ 所員は活動の講評を通して、グループや個人の頑張りを称賛し、宿泊学習に対する意欲付けを行う。

イングリッシュフォトアドベンチャー（自然の家職員用マニュアル）

1 自己紹介

2 場所の確認

- ・ 本館からサンセットブリッジ，サイクリングロード入口までであることを確認する。
- ・ 裏門，正門，砂浜には出ない。（フォト地図等で確認する。）

3 進め方の説明	<p>① 「スタート」から「ゴール」まで英語で話します。</p> <p>② 各グループに、「フォト図」「解答用紙」「ビブス」「おたすけカード」を配ります。</p> <p>③ フォト図は5枚あるので，1枚ずつリーダーを交代しながら進めます。</p> <p>④ リーダーが交代する時には，ビブスも渡してください。</p> <p>⑤ 分かれ道では，リーダーは立ち止まり，次のように言います。</p> <p style="text-align: center;">ギャザー ヒア プリーズ ヒア イズ ナンバー</p> <p>「Gather here please. Here is No.○」「ここに集まって，ここは○番だよ」</p> <p>⑥ リーダー以外の方は，次のように尋ねます。</p> <p style="text-align: center;">フィッチ ウエイ シュドゥ ウィ ゴー</p> <p>「Which way should we go?」「どっちにいけばいいの」</p> <p>⑦ リーダーは，フォト図をもとに，進む方向を伝えます。</p> <p>⑧ ③～⑦をちょっとやってみますね。（※引率者と一緒にやって見せる。）</p> <p>⑨ 途中で10個の問題があるので，みんなで相談しながら解答してください。</p> <p>⑩ 途中でティーチャーズポイントがあります。質問に全員答えてください。</p> <p>⑪ ゴールしたら，みんなで手をつないで大きな声で「ゴール」と叫んでください。</p> <p>⑫ ③～⑪をちょっとやってみますね。（※引率者と一緒にやって見せる。）</p>
4 その他	<p>⑬ スタート時刻を（ 時 分），ゴール時刻を（ 時 分）とします。</p> <p>⑭ ゴール時刻より5分早くゴールしたらプラス5点，遅れたらマイナス5点というふうに，ゴール時刻によって加点したり，減点したりします。</p> <p>⑮ 「おたすけカード」をうまく使って，ゲームを盛り上げてください。ちょっとやってみますね。（※引率者と一緒にやって見せる。）</p> <p>⑯ 「おたすけカード」の裏には，「カントリーロード」の英語の歌詞があります。</p> <p>⑰ ゴールした後に，グループの全員でフルコーラス歌えたら10点，途中までなら5点ポイントを加算します。ですから，アドベンチャーをしながら，歌の練習もしてみてください。もちろん，英語の歌詞を見ながら歌ってもかまいません。</p> <p>⑱ それでは，この後，グループの作戦タイムの時間にします。解答用紙にビブスの番号やグループ名を書いたら，最初のリーダーやティーチャーズポイントで誰から答えるかなどの作戦を話し合ってください。</p> <p>⑲ なお，引率の先生方は，これから英語しか使いませんのでみんな頑張ってね。</p> <p style="text-align: center;">ギャザー ヒア プリーズ</p> <p>⑳ Gather here please.「みんな集まれ！」の合図で，集合してください。</p>

5 スタート

- ・ できれば時間差スタートが望ましいが，一斉スタートでも構わない。
- ・ 「カウントダウン」「3スリー」「2ツー」「1ワン」「スタート！」

イングリッシュフォトアドベンチャー



写真を見ながらクイズに答えよう！

- 目的：仲間と協力する，英語に親しむ，自然の中で体を動かすことを楽しむ
- 対象：小学生(高)～
- 人数：100人まで(1グループ5人)
- 時間：135分(45分×3コマ)
- 経費：なし
- 準備
 - 〈団体〉
 - ・事前にグループ分けをしておく。
 - ・野外活動のしやすい服装，水筒
 - 〈自然の家〉
 - ・フォト地図，解答用紙，ファイル，ビブス
 - 筆記用具，無線機・自転車(引率者)

イングリッシュフォトアドベンチャーの進め方

●使用用具

フォト地図，解答用紙，ファイル，ビブス，筆記用具，無線機・自転車（引率者）

●コース

自然の家～カモメの館～迷路の広場～サンセットブリッジ～サイクリングコースの往復

●展開

- ① 用具等の準備，集合，人員確認，健康観察を行う。
- ② 活動方法や注意事項の説明をする。
- ③ 活動
 - ・ グループ編成は，5人とし，可能であれば30秒おきにスタートさせる。
 - ・ フォロワーがリーダーに道順を質問し，リーダーがフォト図を手がかりに道案内をする。
 - ・ フォト図が5枚あるので，リーダー役を交代しながら進める。
 - ・ 案内する側とされる側を経験できるようにする。
- ④ ゴール，人数確認，用具等の後始末をする。
- ⑤ 採点后，成績発表と活動の振り返りをする。

●留意事項

- ① 引率者は活動のすすめ方やコースについて，確認をしておく。
- ② グループから離れた行動をとらないように注意する。
- ③ 活動中は，天候の急変や事故防止に備えて，対応措置を考えておく。
- ④ 全員の帰着を確認する。
- ⑤ 振り返りの視点
 - ・ 仲間との協力，英語への親しみ，自然への気付き